

平成27年度高知女子大学看護学会公開講座報告

「やってみてわかる！ 分析方法」

平成27年の公開講座は、「やってみてわかる！ 分析方法」（高知県立大学共催）をテーマに、平成27年9月19日（土）に「看護の量的研究」第1回と第2回、平成27年9月26日（土）に「看護の質的研究」第3回と第4回を、高知県立大学池キャンパスにて開催いたしました。

第1回「看護の量的研究：質問紙の作成とデータ分析の入口」は、講師 内川洋子先生（高知県立大学准教授）で開催し、参加者は32名でした。統計的な分析の基礎について講義をしていただき、質問紙の作成とデータ収集方法についての演習を行いました。参加者からは、「量的研究の振り返りができてとてもよかったです。ポイントがまとまっていて、例などいろいろ聞けてわかりやすかったです。」「初期レベルから看護研究の考え方など段階別に教わりたいと思いました。」「具体的に今後研究をしていくために勉強ができました。」などの意見や感想をいただきました。



第2回「データの量的な分析：『効果あり！』を調べる方法～グラフだけではじめる統計法～」は、講師 井上正隆先生（高知県立大学講師）で開催し、参加者は33名でした。量的研究における統計法についての講義では、演習を通して、参加者が練習問題を実際に考え、統計のグラフの読み方や意味について学んでいきました。参加者からは、「わかりやすかったです！もっと聞きたかったです。」「苦手意識の強い講義でしたが、問題を解きながらやっていたのでとても

わかりやすかったです。」「統計グラフの見方、使い方がとてもよくわかりました。」との意見や感想をいただきました。



第3回「看護の質的研究：インタビューガイドの作成とインタビューの実際」は、講師 田井雅子先生（高知県立大学教授）で開催し、参加者は41名でした。質的研究の方法論、研究のプロセス、研究テーマを設定し、研究の枠組みから半構造的インタビューガイドの作成について、ご講義いただきました。その後、「新人看護師の職場適応を促す支援」を研究課題例に、半構成的インタビューガイドの作成とインタビューの実際について演習を行いました。参加者からは、「今回看護研究をするにあたり、参考になりました」「インタビューは難しい。経験積むのみですね」「わかりやすく教えてください、研究の意欲がわいた」「演習が勉強になりました」などの感想をいただきました。



第4回「看護の質的研究：インタビューデータの分析」は、講師 池添志乃先生（高知県立大学教授）で開催し、49名の参加者でした。データと繰り返し対話し、対象者の語った言葉を大切に、現象のラベルづけを行う手順についてご講義いただきました。そして、インタビューの逐語録を用いて、コード化、カテゴリー化を演習しました。また、演習後には池添先生より分析結果からのストーリーの描き方のモデルが示されました。参加者からは、「楽しくてわかりやすかったです」「具体的に演習できたので、今後活かしていきたいと思います」「リアルに研究している気分が味わえて楽しかったです」「カテゴリーは難しいと思いますが、研究を頑張ります」との感想をいただきました。



平成27年度の4回の公開講座には多くの皆様が参加してくださり、各回の演習でも熱心に取り組まれ、活発に質問もされていました。看護研究に関する学習ニーズは高く、アンケートで寄せられたご意見やご要望を参考に、次年度の企画を検討していきたいと考えております。

